

【平成15年度専修学校ITフロンティア教育推進事業】

事業名	ITSS 準拠による開発系エンジニアのスキル診断・研修コース開発		
学校法人名	学校法人河合塾学園		
学校名	トライデントコンピュータ専門学校		
代表者	河合 弘登	担当者・連絡先	桜井 ysakurai@kawai-juku.ac.jp
<p><事業の概要></p> <p>本事業では、新しい人材育成の指標である IT スキル標準 (ITSS) に準拠した研修コースとスキル評価に関する研究開発を実施した。研修コースの目標は、ITSS の 11 職種のうち、人材育成ニーズが高く専修学校教育との関連性が深いアプリケーションスペシャリスト職種のレベル 1 とした。研修コースの開発後には、有効性の検証と成果の普及促進を狙いとして講座を実施した。また、専修学校や IT 研修事業者における ITSS の取り組み状況に関する実態調査を行った。</p> <p><成 果></p> <p>調査研究では、専修学校や IT 研修事業者における ITSS の取り組み状況をテーマとしたが、このような調査は現在のところ他に類例が見当たらない。今回の調査によって、ITSS に対する IT 業界の活発な動きを、定量的かつ具体的にまとめることができたことは大きな成果であった。その点において、調査報告は専修学校が ITSS への対応策を検討する上で有用な内容を多く含むものとなっているはずである。</p> <p>研修コースは、擬似的な開発案件に対して受講者がプロジェクトチームを編成し、一連の工程を学習するプロジェクト演習がベースとなっている。ITSS では“スキル”を個別的な要素スキルではなく「総合的な課題解決力・実務能力」と定義しているが、プロジェクト演習は課題解決力の練成に有効なアプローチである。また、このような教育方法やそこで使うことができる学習素材は、専修学校の現場が必要としてきたものである。内容の有効性に関しても実証講座によって確認されており、専修学校教育のレベル・質の向上に寄与できる成果物に仕上がっている。</p> <p>更にここでは、記述の抽象度が高い ITSS と教育訓練の具体的な内容をマッピングするための方法論をガイドラインとして示しているが、アプリケーションスペシャリスト職種以外の職種にも適用可能な汎用性のある内容とすることができた。</p> <p>今後は、本事業で得られたノウハウを活かして、人材育成ニーズが見込める職種・レベルに対応した研修コースの開発を行う予定である。</p>			